

議 会 だ じ り

第47号

発行 安曇野市議会
平成29年8月2日



安曇野市

穂高西小学校音楽会

6月定例会で決まりました	2
議会報告会を開催しました	5
常任委員会で審査しました	6
市政のここが聴きたい!! 6月定例会一般質問	8
委員会視察報告	20
平成28年度政務活動費収支報告	21
第三期 安曇野市議会の主な活動を紹介	22

主な議案等を紹介します

- ・全議案の審議の結果
→ 4 ページ
- ・議案ごとの賛否
→ 4 ページ

参照

6月定例会で

決まりました

平成 29 年 6 月定例会が 6 月 1 日から 26 日までの 26 日間開催され、議案 12 件、陳情 2 件が審議されました。本会議の一部を紹介します。

補正予算 審議

議案第 49 号
平成 29 年度安曇野市一般会計補正予算（第 1 号）
 一般廃棄物処理業の許可処分取消等請求事件（平成 29 年（行ウ）第 3 号）について、年度内の結審が不明であり、翌年度以降も支出が見込まれるため、債務負担行為の設定を行うもの。

議案第 52 号
平成 29 年度安曇野市一般会計補正予算（第 2 号）

議案第 53 号
平成 29 年度安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）



・上記 2 議案は、あづみ野産業団地用地（左図 A 区画）売却に伴う、土地開発公社への支払いに係る追加予算を計上するもの。

3件とも可決

条例 改正

ゴミの持ち去り、ポイ捨て、ゴミ屋敷などの事案を規制の対象とする改正

議案第 45 号
安曇野市廃棄物の適正処理等及び生活環境の保全に関する条例

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定では規制することができない廃棄物の持ち去り、ポイ捨て、ゴミ屋敷などの事案を規制の対象とするため、「安曇野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」の全部を改正するものです。

可決

条例 改正

選挙公営による選挙運動諸費用の増額に伴う改正

議案第 47 号
安曇野市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例

公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動諸費用に関する金額を増額する改正を行うものです。

可決

※選挙の公営とは？

資金の多い少ないにかかわらず、選挙運動の機会を持てるようにする制度。選挙カーのガソリン代や選挙ポスター代などに、市の選挙の場合は市から一定の補助があります。ただし、一定の得票数に達しないと、補助対象にはなりません。

陳情 審議

「共謀罪」法案の廃案を求める陳情

陳情第 2 号
「共謀罪（テロ等準備罪）」の廃案を求める意見書の提出を求める陳情書

「共謀罪（テロ等準備罪）」法案の廃案を求める意見書を内閣、衆議院、参議院に、安曇野市議会として提出することを求める陳情。

※この陳情が議会に提出された後の 6 月 15 日に「共謀罪法」が成立したため、陳情にある「廃案」の文言は「廃止」でなければならず、審議・採決はできないという意見もあったが、陳情の願意をくんで審議されることとなった。

不採択

陳情に賛成の意見

・共謀罪の成立により、基本的人権がないがしろにされ、政治権力によって異論や抵抗が抑え込まれるなど、もの言えぬ社会になっていくことが懸念されるので、本陳情に賛成する。

・共謀罪法成立は、捜査当局による監視強化を促進し、市民同士による相互監視社会を導き出し、独裁国家への道を開くものであるため、共謀罪法に反対し、意見書を提出することに賛成する。

陳情に反対の意見

・テロ等準備罪の法律制定は、絶対に必要。陳情は「廃案」を求めているが、ここでは「廃止」にすりかわっている。陳情項目の共謀罪法の「廃案」を求める意見書の提出について、賛成か反対か審議すべきなので、本陳情には反対する。

・世界各地では、テロ等の組織犯罪を未然に防ぐために、国際組織犯罪防止条約の締結が急がれている。そのためにも、至急に国内法の整備をする必要があるため反対する。

改正に賛成の意見

・公選法においては、お金のからなない選挙を実現するとともに、候補者間の選挙運動の機会均等を図る手段として選挙公営制度がある。すべての候補者がコスト意識を持って選挙公営を活用するよう、選挙管理委員会が周知徹底することを要望し、賛成する。

改正に反対の意見

・ポスター制作については、これまで実勢価格より高い限度額を設定している。前回市議選では限度額の半分以下で十分印刷できるところ、限度額上限で作った候補者が 29 人中 10 人。今回その上限額が上がるとなれば、コスト意識を失わせたり、水増し請求等の不正を誘発しかねないので、反対する。



人事案件 議案第 54 号

人権擁護委員の推薦につき、^{みさわかずこ}三澤一子さんと^{もちつきしずみ}望月静美さんを適任とした。

(任期 平成 30 年 1 月 1 日から 3 年)

第4回 安曇野市議会 報告会

議会報告会を 開催しました

平成29年度安曇野市一般会計予算についての審査状況と結果を中心に報告

問 明科の山間部には、高齢世帯ばかりの地域があるが、この...
答 不便だという声を議会でも聞いていたので、市長に文書で申し入れをしてきたが、結果的に今の時期になってしまったのか。

市民の方からいただいたご意見(抜粋)

開催日：5月28日(日)
明科公民館2階 講義室 参加者 3人
午後2時から
堀金公民館3階 会議室1 参加者 9人
午後2時から
安曇野市役所4階 大会議室 参加者 6人
午後7時から



堀金会場

問 自治基本条例が制定されたが、パブリックコメントで出された意見を議会として扱ったのか。
答 市側から報告を受けたのみだった。今後必要があれば順次逐条解説によって不足は補うと聞いているので、今後関わりたい。

その他寄せられたご意見

「しゃくなげの湯について」と「市が訴えられている裁判について」のご意見がありました。

今回は、開催が日曜日ということで、田植えなどの農作業や地域行事と重なったためか、参加人数が低調でした。議会改革推進委員会では、以下のような反省点が話し合われました。

- ① 開催時期や開催場所などの選定を慎重にして、市民が参加しやすい環境づくりを目指す。
② 3月議会の報告だけでなく、市の抱えているテーマに絞った報告会をすべきではないか。

以上を踏まえ、今後の開催を検討し、より市民に開かれた議会を目指します。

報告事項

Table with 4 columns: 報告番号, 件名, 結果. Lists various reports including budget reviews, road accident reports, and council decisions.

総務・財政・環境

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists council proposals related to waste management and public facilities.

産業・経済・観光

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists council proposals for industry and tourism.

人事

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists council proposals regarding personnel matters.

建設・水道

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists council proposals for construction and water supply.

陳情

Table with 4 columns: 陳情番号, 件名, 結果. Lists council proposals for public petitions.

議員提出議案

Table with 4 columns: 議案番号, 件名, 結果. Lists council proposals submitted by council members.

賛否が分かれた議案等

Large table showing council proposals with columns for proposal number, name, date, result, and individual council member votes (賛成, 反対, etc.).

経済建設

経済建設委員会では付託された3件の議案と継続審査1件を6月20日に審査しました。その中から主な内容について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等 

陳情第1号

長峰荘の存続と整備について

審査未了

3月議会で提出され、2回の継続審査となっていたが、この6月議会で3回目の審査が行われ、継続したいという意見が出された。賛成多数で継続審査となり、審査は未了となった。

意見

- ・市の公共施設再配置計画というのは非常に難しい。地域の絆と地域福祉の向上のために寄与する施設の必要性や重要性を十分考慮にいれ、より慎重な検討が必要だ。
- ・地域の大事な施設を民間譲渡か廃止かというだけでなく、市全体でどういう施設かをとらえながら、民間委託か、指定管理かをしっかり考えていく必要がある。
- ・絶対に考慮しなければいけないのは安全面であり、耐震と危険区域という2点だ。
- ・長峰荘に期待するものを考えると、工夫しただけではお風呂とトイレと大広間があればいいのではないかな。



長峰荘（明科地域）における審査

議案第52号、議案第53号

あづみの産業団地分譲地(2323.72㎡)完売へ

全員賛成
可決
すべし

平成28年度に12件の問い合わせがあり、今年1月から輸送用機械器具卸の1社と交渉を進めた。「あづみの産業団地分譲企業選考委員会」の適当であるとの審査結果を経て議会で提案された。

総務環境

総務環境委員会では付託された4件の議案を6月16日に審査しました。その中から主な議案等について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等 

福祉教育

今議会において福祉教育委員会に付託された議案はなく、6月19日の委員会にはその他の案件について調査、協議を行いました。その中から主な事柄について紹介します。



議案第45号

生活環境の保全に関する内容が新たに追加

全員賛成
可決
すべし

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の全部を改正し、廃棄物の適正処理だけでなく、生活環境保全のための規定を定めた新たな基幹条例

陳情第2号

共謀罪（テロ等準備罪）の廃案は

賛成少数
不採択
すべし

共謀罪（テロ等準備罪）の廃案を求める意見書の提出を求める陳情を審査

反対の意見

・法案が成立しているのに、廃案を求める意見書の提出が不可能になった。国民をテロから守るため、また国際組織犯罪防止条約を締結するために、国内法の整備が欠かせない。また、今後国内で開催されるラグビーワールドカップや、東京オリンピック・パラリンピックを安全・安心な大会にするためにも、この法律は必要である。

賛成の意見

・この法案は、戦後の日本の民主主義の流れを根本から崩してしまう。思想・信条の自由を奪うものである。この法案は、罪刑法定主義の原則に反しており、国民の権利や人権を抑圧するものであり、廃止すべきと考える。

この4月に開園した市内の私立保育施設の現地視察

私立の地域型保育施設（小規模保育施設）2施設と、私立の認定こども園2施設のうちの一つを視察



各施設の視察

保健医療部からの報告と説明

市の介護保険事業に係わる現状、地域包括ケアシステムの構築への取り組み、第7期の介護保険事業計画について

- ・地域包括ケアシステムについて、高齢化の状況、要介護認定者の状況、市の地域包括ケアの体制、在宅医療と介護連携の推進、認知症施策の取り組み、介護予防の取り組み、生活支援体制整備事業等の報告と説明。
- ・第7期の介護保険事業計画について、3年に一度、老人福祉計画とあわせて策定をするもの。平成29年度が策定の年になっているので、平成28年度から高齢者実態調査等で状況把握をしながら進めている。

質疑

問 地域ケア個別会議が始まっているが、その進捗状況と地域との医療連携は。

答 地域ケア個別会議の開催は、開始から約3年で30回という状況である。まだ開催されていない地区の介護支援専門員に対しPRに努め、開催を促している。医療機関や医師会の理解は得られており、先生方へ出席していただき、よりよい個別ケア会議を目指し医療機関との連携に努力していく。



信誠会 山田 幸与

強くたくましい安曇野の 子供を育てるために



問 市内17の学校ごとの児童・生徒数を比較すると、学校間で大きな幅が生じている。学習環境面から教育委員会としての考え方を伺う。

答 人間関係を豊かにするという上でも、一定程度の規模を維持することが必要であると考えている。そこで、仮称ではあるが、「活力ある学校のあり方検討委員会」を組織して、小・中の連携一貫教育などを含め、今後のより良いあり方について検討していきたい。

問 市教育委員会では県からの職員派遣を受け、教育指導室を設置している。市に派遣された指導主事は、学校教育の専門家としてより活発に職務に当たっていただけたらと考えている。そこで、教育指導室の独立性確保について提案するが。

答 一人ひとりの子供たちの個性や能力を最大限引き出していけるように、また、保護者や地域の皆さんの相談や要望に応え、学校教育現場に密着して、陰に陽に支えていくのがこの職である。提案の件、

少し時間をとり、検証、研究を重ねていきたい。

市の出身者が採用試験を受ける機会が増すような取り組みを

問 安曇野市で生まれ育った人材が、故郷で市の発展に尽くせるよう職員として活躍することについて市長の考えは。

答 ふるさとの発展のために尽くすということは、地域の活性化にもつながり、すばらしいことだと考える。ぜひ期待に応えられるよう頑張らせてほしい。



信誠会 一志 信一郎

有害獣の適正管理と ジビエによる地域づくり



問 農作物の被害防止対策として、電気柵導入の効果は評価できた。堀金地域の電気柵外における平成28年狩猟期の捕獲数は、クマ8頭、イノシシ30頭だった。安心・安全に生活していくには、駆除する体制を強化するしかない。そこで、農作物の被害状況と今後の方針について伺う。

答 農作物の被害状況は、平成27年度は304万円に減少し、平成28年度は1082万円へと増加した。主な要因は、明科地域で始まったワイン用ブドウへのニホンジカ等による被害拡大だ。西山山麓の電

問 ハンターの養成と補助金交付の増額等について伺う。

答 補助制度については、新規銃狩猟免許取得や医師の健康診断料・保険料等の対象経費の一部を助成す



ジビエ料理

る。また、射撃及び安全講習経費、免許更新時の経費等の一部を助成している。補助金の増額は、周辺市町村の動向を見ながら考える。

問 ジビエによる地域づくりと食堂・飲食店等の開設資金等制度について伺う。

答 調理師会では、料理講習会を開催し、料理の普及を行う。県や信州ジビエ研究会やJR東日本は、ジビエを活用し、供給から需要拡大に向けた取り組みや、連携を強めている。開設資金の調達として、県では、各種の融資制度を設けている。



信誠会 宮下 明博

合併後の公平性という観点から長峰荘存続を



問 本庁舎周辺は便利になり栄える中、旧役場周辺は様変わりし、明科では30人以上の宴会ができる施設は長峰荘だけ。この深刻な状況を市長は市全体を見る中で配慮すべき。

公共施設再配置計画で、長峰荘は平成30年度に譲渡か廃止の方針が出たが、決定ではない。地元市民と話し合い、市長のリーダーシップで存続できないか。

答 少子高齢化が進む中、現存する全ての公共施設を将来持ち続けるのは困難で、再配置計画でも長峰荘は廃止、譲渡の方向性が示された。営業継続は困難だと理解してもらい努力はしていく。

問 長峰荘のニーズも変わってきた。建設当時は保養センターで、合併した時から観光振興施設。今は交流の場として地域福祉の拡充に寄与する施設だ。耐震補強を行い、上下水道料を減免するなどして何としても継続できないか。



長峰荘

ているので、耐震補強して建物を継続させることは困難と考える。

穂高プール廃止の代替について

問 毎年約2000万円の赤字が続く穂高プールは廃止し、穂高広域施設のあづみ野ランドを改修し、温水プール付きの健康増進施設にすれば、子供から高齢者まで利用できる。現施設の約7000万円の赤字解消にもなり、一石二鳥だと思うがどうか。

答 構成市町村との関連があり現在焼却炉計画に整備計画が記されており、現状に無理だと捉えている。



公明党 小松 芳樹

民間企業の協力により臭気0へ



問 総務環境委員会で、恵那市の「東海バイオ」を視察した。緑化廃棄物の堆肥化や臭気対策の取り組みを見たが、山積みされた堆肥から匂いは感じず、その堆肥は市民が無料で持ち帰っている。この事業所の社長から「早稲田大学と共同開発したバイオ菌の生物分解により堆肥化されている」と説明を受けたが、市において取り入れられないか伺う。

答 この事業所の技術面や環境に対する取り組みは素晴らしいと思う。安全面・コスト面において確認検証した上で、農林部・市民生活部で連携を図り検討したい。

問 市では、家庭から出た緑化廃棄物は緑のリサイクルとして受け入れられているが、この処理にも有効と考えるか。



花見が期待できる黒沢川堰堤の桜並木

問 の問題もある。建設現場で出る木くずなどもチップ化して堆肥にしている。受け入れ処理費用もかなり安いと聞いたが、一般廃棄物の処理業者や木材センターでの課題解決につながると思うか。

答 一企業にかかわらず廃棄物の減量化、資源化の促進を図る上で、総合的に取り組める事業を検討する必要を感じる。

【その他の質問事項】
○ふるさと納税の今後について

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)



信誠会
杉橋 秀太郎

杉橋の早期改修に向けた積極的な取り組みを



問 杉橋早期改修連絡協議会から、早期改修を県に働きかける請願が、平成26年12月定例会で全議員が賛成して採択された。その後、平成28年6月定例会で、松本・安曇野の両市長による期成同盟会の設置を提案したが、その取り組みについて伺う。

答 杉橋の改修が早期にできるよう、県に働きかけていく。
問 早期に健康ポイント事業を

答 平成29年2月10日開催した関係機関による杉橋周辺渋滞対策担当者会議の際に、期成同盟会の設置について松本市に対して検討を依頼した。

問 市民の健康増進、医療・介護費用の低減などに効果があり、全国的に広がってきた健康ポイント事業を、地域おこし協力隊を活用した早期実施について伺う。

問 具体的進展がないので、県のOBとして松本建設事務所・県庁担当者に現地の実態を説明し要請してきた。そして、県が梓川の河川管理者である千曲川河川事務所と協議し、工事許可を得るのに必要な調査事業の予算が平成29年6月1日付で認められ、許可に向けて大きく前進した。許可が出たら早急に工事できるよう、今から県に働きかけていくことが重要だ。市の取り組みを伺う。

答 多角的な枠組みで取り組む必要から政策部にかかわるよう指示し、地域おこし協力隊の活用については制度設計が固まり次第、政策部で検証し決定していく。



梓橋中央のくびれ部分、交通渋滞の原因の1つになっている

問 こころの健康とは、生き生きと自分らしく生きるための重要な条件であり、適度な運動、バランスのとれた栄養・食生活、十分な睡眠がストレスと上手に付き合う大切な要素だ。しかし時に崩れやすいものであり、思い悩んでいる方に寄り添い、どう支えていくかが大きな課題だ。各市町村に自殺対策計画の策定が義務付けられたが、どう取り組んでいくのか伺う。

問 子供の貧困についての研修を受けた。朝ごはんを食べ、歯みがきをする、この当たり前の経験や体験をしない子供たちは、こころの貧困に陥っていると言われた。子供の食の改善のための学びや保護者の啓発、子供の健康・生活実態調査が必要と思うがどうか。

答 自殺対策として、保健や医療、福祉や教育、労働など様々な観点から必要な支援を考えていく必要がある。関係部署・機関と連携をして取り組んでいきたい。

答 朝食を毎日とること、生活習慣をしっかりと身につけることは、こころの健康を保つ上でも、学力を高めるためにも大切と思う。調査については研究していきたい。

問 平成28年度から、ひきこもり支援事業に取り組んでいる。現在の状況、これからの課題について伺う。

答 朝食を毎日とること、生活習慣をしっかりと身につけることは、こころの健康を保つ上でも、学力を高めるためにも大切と思う。調査については研究していきたい。



政和会
坂内 不二男

火災発生時の防災無線による市民への周知を



問 糸魚川市の大火で人命に係る被害にならなかったのは、防災無線による市民周知が評価されている。そこで、市内で火災が発生した場合、防災無線で放送されないが、どのような方法で市民に情報提供しているか。

答 松本広域消防局に放送をお願いしている中で、安曇野市だけというのは難しい状況である。

問 電話による音声案内とメール配信の二つの方法で行っている。電話案内は、松本広域消防局の電話案内サービスを聞いてもらうことになる。このサービスは火災情報だけでなく、救急当番医なども聞くことができる。

問 松本広域消防局に放送をお願いしている中で、災害を想定した公衆トイレを設置すべきでは。

答 すでに新田公民館前の公衆トイレは、震災を想定したトイレとなっている。この駐車場も災害時を想定する中で、駐車場の役割などを検討し、市民と共に研究する。

問 146台駐車可能なこの駐車場は、震災時は車中の避難所となること

問 防災無線のデジタル化までは、防災無線による火災発生時の放送があったが、なぜ放送しなくなったか。

答 松本広域消防局管内の松本市、塩尻市など、多くの構成市町村で火災情報を流していなかったこともあり、デジタル化に合わせて火災情報の放送をしないこととした。

問 火災発生時に防災無線で放送を流してほしい旨の要望があるが、再検討できないか。

答 他の方の要望については、引き続き

問 残る交差点改良についても、引き続き取り組みをお願いしたい。特に柏原交差点は、毎日、通勤時の渋滞が想像以上だ。残る交差点についても努力してほしいが。

答 他の方の要望については、引き続き

問 豊科公民館前駐車場に震災を想定した公衆トイレを設置を

答 すでに新田公民館前の公衆トイレは、震災を想定したトイレとなっている。この駐車場も災害時を想定する中で、駐車場の役割などを検討し、市民と共に研究する。

問 豊科公民館前に駐車場が完成

答 すでに新田公民館前の公衆トイレは、震災を想定したトイレとなっている。この駐車場も災害時を想定する中で、駐車場の役割などを検討し、市民と共に研究する。



豊科公民館前に駐車場が完成



政和会
黒岩 豊彦

広域農道に右折レーンの設置を



問 広域農道交差点には右折レーンがない箇所が5カ所くらいある。改良が必要だと考えるが、以前に質問したときには県との協議が必要との答弁だったが、その後の進捗状況について聞きたい。

問 周遊型の道路整備について

答 提案があった5カ所の交差点について、その中で県道と交差している住吉交差点については、県と市で調整を行っている。現在、広域農道では、県営の歩道整備事業が行われており、住吉交差点北の市道側の用地買収も昨年終了している。県道側も今年、交差点改良詳細設計を実施する予定だと聞いている。早期完成に向け、県との調整を進める。

問 山岳観光が進められる中、県道豊科大天井岳線の須砂渡トンネル(仮称)の事業化の見通しは。

答 地元関係団体と毎年、県へ要望している。

問 道路の利用頻度を上げるべき。一つの提案だが、須砂渡堰堤の上部に橋梁を新設し、周遊型道路として穂高側に接続すれば、山岳観光に活けると考えるが。

答 新たなルートは一体的な整備とできてきつかけになるが、現時点では非常に難しい課題だ。

問 残る交差点改良についても、引き続き取り組みをお願いしたい。特に柏原交差点は、毎日、通勤時の渋滞が想像以上だ。残る交差点についても努力してほしいが。

答 他の方の要望については、引き続き

問 他の方の要望については、引き続き

答 他の方の要望については、引き続き

問 他の方の要望については、引き続き

答 他の方の要望については、引き続き

問 他の方の要望については、引き続き

答 他の方の要望については、引き続き

問 他の方の要望については、引き続き

答 他の方の要望については、引き続き



住吉交差点付近

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)



公明党 藤原 陽子

防災力強化のために



問 災害時に、支援を受けるための受援計画の策定について伺う。

答 他の自治体や企業等の支援を無駄にせず、速やかに受け入れられる態勢を整えることが大切であり、広域相互応援計画、緊急輸送計画、ボランティアの受け入れ態勢などを精査する。

問 洪水ハザードマップを、色覚障がいの方に配慮した、メディア・ユニバーサルデザインに更新を。

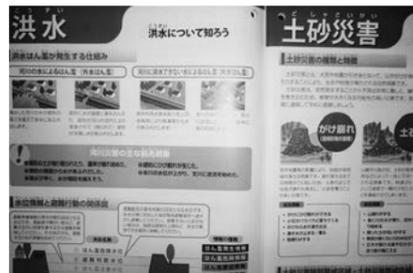
答 現在、先天的に色の見え方が異なる皆さんへの配慮がなされたものにはなっていない。浸水想定区域の見直しの反映など、ハザードマップの更新に向けた準備をしており、メディア・ユニバーサルデザインを使用し、全ての市民に正確に情報を伝えたい。

問 大規模盛土の情報公開について。
答 大規模な盛土を行った宅地の地すべり災害の対策として、一定の要件に該当する大規模盛土の位置などをマップにして公表することを進めている。災害の未然防止や被害の軽減を図る観点から重要である。盛土を抽出するための基礎調査を、平成30年度に実施する。

害の軽減を図る観点から重要である。盛土を抽出するための基礎調査を、平成30年度に実施する。

問 アウトリーチ防災用帽子(子供の命を守る、ダンボールで水に強く、軽量でヘルメット並みの強度を持ち、折り畳めてランドセルにも入るもの)の購入を。

答 避難訓練では、落下物から体を守りながら避難する指導をしており、避難時には有効であると思われることから、財政も考慮する中で、児童、生徒への配布や、学校備蓄品としての購入等、学校と協議する。



安曇野市の防災マップ



日本共産党 安曇野市議員 松澤 好哲

安曇野市は将来どのような市政になるか



問 当たり前の人が当たり前に生きられ、日本国憲法の幸せを保障する観点から、安曇野市の展望を伺う。最初に、拾ヶ堰世界かんがい施設遺産と今後の展望は。

答 これまでに、ほりがね物産センター道の駅への拾ヶ堰のパンフレット設置やパネル展示の他、地域団体の皆さんによる拾ヶ堰周辺の草刈作業、観光協会による拾ヶ堰ウォークが開催されている。今後は、拾ヶ堰整備内検討会を設けて関係団体と連携し、取り組みを8月下旬ごろまでに集約し、平成30年度予算に盛り込みたい。また、子供たちの地域学習として総合的な学習の時間などを利用して、博物館職員が学校に向いて、展示や先人の苦勞を伝える暮らし講座などを開きたい。拾ヶ堰は周辺整備や農業水利の維持をしながら、教育や観光等に結びつけていきたい。

問 次に、地下水や農業基本構想などによる自主財源の確保は。
答 市の自主財源確保の中で、企業の



拾ヶ堰世界かんがい施設遺産登録を祝う旗と安曇野ハーフマラソン

振興は極めて大切と捉え、助成制度や制度資金、支援体制等を整えたい。農業では、農業機械購入補助や認定農業者跡取りの親元就業支援等、第二次農業農村振興基本計画で稼げる農につなげたい。その他、安曇野の水のシンボルマークをつけた商品の売り上げの一部から協力をもらおう事業を平成32年度から実施する計画や、水の収支バランスの改善のために、地下水揚水事業者による費用負担での財源確保も考えている。

【その他の質問事項】
○安曇野市の安心安全公共交通



信誠会 宮澤 豊次

国道一四七号高家バイパス先線と周辺整備



問 国道一四七号高家バイパス先線(本村)の動向と、市内南部の東西幹線軸の整備状況について伺う。

答 県に対して経済・産業・観光の面から、整備効果・ストック効果に対応しつつ早期事業化を要望中である。市道の東西軸では本村線の整備が平成28年度末で終了し、現在は吉野線を整備中である。

問 世界かんがい施設遺産登録された拾ヶ堰を整備し、安曇野を代表する観光スポットにできないか。

答 市ではこれから「拾ヶ堰整備庁内検討会議」で、アクセス・観光・案内看板やパンフレット等あらゆる面から検討を重ね、拾ヶ堰の観光資源化対策に取り組んでいく。

問 拾ヶ堰の環境整備をどのように考えているか伺う。
答 今までも土地改良区を中心に、地域の皆さんや諸団体によるボランティア活動で環境整備をしている。今後は更に、地域住民や関係諸団体との連携を強化し、周辺の田園風景の保全と環境整備に努める。



国道147号高家バイパス先線(本村)にある拾ヶ堰(平成橋周辺)

ごみポイ捨て禁止条例の制定

問 市民や観光客のごみへの意識向上を図り、きれいなまちづくりを目指すため、ごみポイ捨て禁止条例の制定を提案したいが。

答 廃棄物の減量・資源化・ポイ捨ても含め、安曇野市廃棄物の適正処理等及び生活環境の保全に関する条例で総合的に対応したい。

問 市民や事業者のごみへの意識向上策はどう考えているか伺う。
答 広報や出前講座等による意識啓発とごみ減量化の環境整備を図り、地域ぐるみの活動を充実させる。



政和会 平林 徳子

小学校の施設整備等をどう進めるのか伺う



問 公共施設再配置計画で、小学校施設の維持・修繕等どう進めるのか。

答 ①安全性の確保②財政負担の軽減③サービスの効率化と質の向上を基本に、適切な点検と予防的な修繕をし、維持管理経費の削減と平準化を図る。

問 小学校は10校あるが、対応は。築後40年経過し、老朽化が進み不都合が多くなってくる。学校と話し合い計画的に進める。

答 三郷小学校を例に、①バッテリー型といわれる教室の配置と教室の狭さについて②教科書のサイズがA4になりランドセルが大きくなったため、ランドセルロッカーが小さすぎる③雨樋が腐食している物置について、以上3点伺いたい。

問 ①耐震補強・長寿命化工事の中で、設計士を交え専門的見地から検討する。使い勝手よく改修したい。②補正予算を組むのか、修繕費で対応できるのか、できる限り早めに対応したい。③早急に対応していく。



今日も心を込めて届けます(給食調理中)

問 公共施設再配置は避けて通れない。市民への啓発にマンガの活用は。
答 市民の理解と協力が鍵になる。マンガも一例に広報に努めたい。

問 子供の貧困が言われ、給食の重要性が増している。給食のあり方や給食費無償化の研究をしてはどうか。

答 一日約8550食提供している。保護者は食材費のみの負担である。国や周辺自治体の動向等にも意を注ぎ、研究すべき課題である。

【その他の質問事項】
○男女がともに活躍できるまちづくりについて

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)



信誠会 小松 洋一郎

インター周辺に最先端 技術の産業団地を



問 先端技術導入による医療用ロボットや水資源を活用した食品関連等に特化した産業団地構想を安曇野インター周辺に構築し、全国に企業誘致発信ができないか。

答 ハード面の整備よりも、生産人口の減少、有効求人倍率の高止まり、県下の取り組み状況、全国における立地状況を考えたときに、周知の準備、計画を前提とした戦略が必要である。

問 農振法、農地法、国営かんがい事業の受益地の関係から、新産業団地の確保や拡充は難しい状況であるが、この度、国会で可決された「地域未来投資促進法」の中に、農地転用許可等の規制特別措置が取り上げられている。積極的に検討する価値があると思うが。

答 民間事業者、官民連携による地域経済牽引事業計画の承認を受けることができれば、農地転用許可、市街化調整区域の開発許可等に係る配慮も受けられる特別措置である。具体的な指示はないが、説明



あづみ野産業団地の全景

会等に参加し情報収集に努める。

環境問題の成果と課題について

問 悪臭防止法に基づく臭気指数規制導入後とエコアクション21認証取得後の効果検証は。

答 いずれも検証段階であるが、三郷地域の畜産臭気苦情件数は減少傾向にあり、畜産農家の臭気意識が向上してきた。エコアクション21は、公共施設56か所の導入計画も順調。職員がPDCAサイクルを学び活用することにより、マネジメント力が高まっている。



政和会 内川 集雄

パパが産休、さんきゅうパパに関し聞く



問 改正育児介護休業法でパパだけに認められた産後8週間の育児休業。この期間に育児休業を取得する男性、さんきゅうパパを増やすことで、父親・男性の育児参加を促している。業務が忙しくて休めない、職場に迷惑がかかるから、育児休業をとることに對して職場の理解がないなど、さまざまな状況がある。さんきゅうパパを増やす方策、市の取り組みと問題点を聞く。

答 父親も子育てに積極的に参加することは大変有効な制度と考えている。昨年、この休暇を取得した職員は1人だけで、これらの制度については、子供が生まれる職員にパンフレットを配り説明している。一層の周知、取得しやすい環境をつくりながら普及していく。



問 イクメンブルーに対する取り組み、育児後の職場復帰サポート体制の取り組みを聞く。



日本共産党 安曇野市議員 猪狩 久美子

市民の暮らしに どう向き合うか



問 私たちが昨年末から今年にかけて市民アンケート調査をし、「生活が悪くなった」が68%あった。その要因として、年金が減った、消費税増税や物価上昇、国保税や介護保険料の負担増などがあり、公共交通の充実を望む声、総合体育館建設への批判の声も寄せられた。介護保険制度については、度重なる改正で内容が後退し、保険料が高い、利用したくても利用できない、事業者は運営が困難など、厳しい状況が生まれている。これらを踏まえ、国に対して意見書を提出しているのか。

答 資格証明書の発行は、短期被保険者証の交付世帯で1年以上の滞帯に個別の事情に応じて交付している。200万円以下の所得については、収入額とは異なり、基礎控除があり、控除した残りが所得として判定される。滞納額の解消は事情に応じて分納誓約という形になっている。

長峰荘の存続について



政和会 松枝 功

問 市は公共施設再配置計画において「宿泊施設の位置づけの長峰荘を保有し続けることは困難。老朽化も著しく、平成30年度、譲渡または廃止の方向で検討する」としているが、宿泊機能ばかりでなく、地域住民が期待する長峰荘の機能、役割に着目した検討はされたのか。

答 指定管理の公募の際に所管部で検討された。

問 4月に熊本地震の被災地を訪ね、地震の時の被災者等の入浴の状況を勉強してきた。多くの例から、住民の身近に銭湯など入浴施設が確保されていることが大切だと強く感じた。市の公衆浴場助成制度とはどのような事業か。

答 公衆浴場の経営の安定などが目的の事業で、年間110万円を豊科地域の銭湯2カ所に補助している。大災害時への備えとして先見的な事業とも見るが、一方、明科地域では長峰荘を廃止し、入浴施設をなくそうとするのは筋違い。市は、長峰荘の存廃について議案答弁等



長峰荘から見た安曇野と北アルプス

答 市全般のかじ取りの中では、厳しい判断が必要な場合もあるが、地元しつかりと話し、意見交換し、方向を定めていく努力は必要であり、少し猶予がほしい。

問 市長会を通じて国へは要望してきた。国庫負担割合の引き上げ、低所得者保険料の軽減対策に財源確保を、人材確保への対策、報酬単価の適正な評価・設定、平成30年度の医療・介護報酬同時改定の情報提供など。

答 国保の資格証明書の発行、滞納は県下19市の中でもトップだ。国保加入者の多くが所得200万円以



※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)



安曇野を世界級リゾート地へ



問 「安曇野の魅力はこれだ」という明確な答えはなく、資源、資産を活用して「オール安曇野」「チーム安曇野」で、世界級リゾート地安曇野へと提唱しますが。

答 可能性を秘めた市であるので、外国人観光客の対策を含めた受け入れ体制を充実させ、いかに目的地として来ていただけるか、豊かな自然環境、芸術文化等、今あるものに、さらにみがきをかけて推進する。

問 安曇野の貴重な資源である山岳観光の登山者に対する駐車場対策と登山道の整備は。

答 駐車場の不足している状況から、喫緊の課題であるため、解決に向けて取り組んでいく。登山道は、管理責任の所在が不明確な状況にある。関係者と安全な登山道の整備に取り組んでいく。
問 リゾート地には、芸術作品の活用が必要と思うが、市内には大勢の芸術家がいるので、その作品を活用できないか。



駐車場対策が待たれる一沢登山口

答 郷土ゆかりの芸術家に目を向けて企画を行い、この提言の一つの方向性として検討していく。

全国高校総合文化祭「信州総文祭」に向けて

問 市内では写真部会が会場になるが、市を全国に発信、売り出す絶好のチャンスになると思うが。

答 平成29年11月のプレ大会や平成30年8月の大会時には大勢の人が来るので、盛大に開催ができるようPRに取り組み、安曇野ファンを増やしていく。



自然保育×移住安曇野に保育士を呼び込もう



問 市においても保育士不足は深刻より積極的な保育士確保のための方策が必要。市の保育の特質である自然保育をテーマに、都市部で保育士向けの移住セミナーを開催できないか。安曇野の豊かな自然環境で子育てしたいと思う人たちがいるように、この環境で保育や幼児教育に関わりたい保育士、幼稚園教諭はいるのではないかと。

答 市の認定こども園で地域の自然環境や伝統、文化を生かした教育、保育、信州やまほいくに取り組んでいることをしっかりとアピールして自己実現の場として選んでいただける工夫をすることも、保育士確保には必要。

問 2つのフックを考える。一つは移住者への家賃補助を行う。もう一つは保育業界に絶大な人気を誇るケロボンズに市の自然保育PR大使になつてもらうのはどうか。

答 移住施策の担当部局と、保育士向けの移住セミナーの実施の可否も含めて調整が必要。他の賃貸住宅



県が推進する自然保育「信州やまほいく」のロゴマーク

に住む非常勤職員との整合性をどう図るのか、行政運営の公平性の視点から見ると課題は多い。

北小倉廃棄物処理業者の排水処理

問 業者の下水排水の水質は除害処理がされなくても問題ないのか。それとも除害処理をしなければ接続できない水質なのか。それを知るために下水道管理者である市が独自の検査をすべきではないか。

答 自主的な水質検査等を依頼し、報告を求めることは可能。排出水に問題があれば、市から指導、改善命令をする。



日本共産党 安曇野市議員 井出 勝正

市民生活の安心安全、人権を脅かす共謀罪



問 共謀罪は市民の生活と安心安全を守るものか。

答 国民の合意形成には十分ではなかった。これによって言論の自由が統制されたり、内心の自由が侵されたり、思想統制があつてはならない。戦前に回帰してはならない。

問 教育勅語や銃剣道については。教育勅語は戦後国会で排除、失効されたものだ。歴史を学ぶ資料ではあるが、扱いは慎重に考える。武道は柔道と剣道を引き継ぐ。

保育は行政の責任で、拙速な民営化は避けるべきだ

問 保育行政における公の役割は。行政負担の増大と多様な保育ニーズに対応するために、民間活力の導入で、適切な教育・保育の提供を確保し、選択肢を広げる。

問 中期ビジョンに保育園の統廃合や民営化が盛り込まれるのか。

答 統廃合や具体的な民営化の計画を示していききたい。民営化に当たっては時間をかけ、



三郷地域東小倉区での防災備品展示会

地域とのコンセンサスを図った事例を生かすべきではないか。

答 先進事例を参考に策定したい。

防災士資格取得の補助制度を

問 防災士を制度化し、資格取得に補助を出してはどうか。

答 資格取得の一部負担は初めて聞く内部で検討する。

問 指定避難所の耐震化と太陽光パネルの設置はできないか。

答 地震災害の避難に適さない公民館は13、耐震化の補助金の用意はある。太陽光パネルは自主防災組織で検討し、交付金の申請を。



民心・無所属の会 林 孝彦

出産支援、子育て支援の促進を



問 促進の目標と取り組みは。

答 第3子以降の子供が通園の場合は、3歳以上の保育料は全額無料。また、3歳未満の子供の保育料は減額。平成29年4月から本庁舎に、母子・子育て相談窓口を設置した。安心して安曇野で出産できる環境整備と産前産後支援の強化を。

問 安心して安曇野で出産できる環境整備と産前産後支援の強化を。

答 出産・子育て安心ネットワークが活動。平成29年10月から宿泊型の産後ケアと母乳相談券の配付を行う。発達障がい早期発見、早期支援促進に、子ども発達支援相談室「あづみっこサポートルーム」強化を。子育てサポートプログラムを実施。遊びの教室を開催。乳児期からの、はいはいたつちの相談日を実施。PR方法を工夫する。大人になっても支え合う体制づくりを行う。

問 子供の貧困対策で、こども食堂への支援と学校給食無償化の検討を。

答 こども食堂と学習支援については、生活困窮者自立支援法の制度改正の動向や他地域の実施状況を見ていく。学校給食無償化は研究する。



あづみ野おなまキッチン（こども食堂・掘倉）

問 安曇野の定時定路線ワゴンの使い勝手をよくするように。

答 計画では、市内にある公共交通全てについて多角的に検証を行う。

問 高齢者も楽に出かけられるよう安曇野の公共交通の使い勝手向上を

答 高齢者も楽に出かけられるよう安曇野の公共交通の使い勝手向上を

問 向上の目標と取り組みは。

答 地域公共交通網形成計画を平成29年度いっぱい策定する予定。

問 乗合タクシー「あづみん」の使い勝手をよくするように。

答 公共交通協議会部会に5地域のエリア変更、予約、土曜運行等、改善方法の検討をお願いしている。

問 安曇野の定時定路線ワゴンの使い勝手をよくするように。

答 計画では、市内にある公共交通全てについて多角的に検証を行う。

※各議員のQRコードから一般質問の録画放送にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用にはパケット通信料がかかります。)



信誠会 召田 義人

人にやさしいまちづくり



問 市内小・中学校へのエアコン設置について聞きたい。

答 設置や維持費に多額な費用を要することから原則として設置していかないのが現状。暑さ対策として、実際の教室の状況を調査し、快適に学習に専念できるように有効な対策を検討していきたい。

問 市内小・中学校のトイレの洋式化について聞きたい。

答 学校のトイレの環境の改善は大切な課題であり、国の進める長寿命化対策事業にトイレの改修を含め、可能な対策を講じていきたいと考えている。

問 市内中学校の中間・期末・総合テストを統一し、その結果を開示できないか。

答 テストの実施日を合わせなければならぬという問題があり、困難ではないかと考える。今後は学校間の連携が図れないか研究していきたい。

問 市内小学校のクラス替えと学級担任について聞きたい。



快適な学習環境が望まれる

答 クラス替えについては、一人ひとりかという学級に編成されてきたかというようににも十分配慮してほしいと指導している。担任については、生徒の思いや保護者の願いを大切にしながら適切な配置している。

問 いじめ・不登校・道徳教育について聞きたい。

答 全市を挙げてきめ細かな対応をし、一丸となって対策に取り組んでいく。道徳教育では人間を尊重し、命を大切にできる人間の育成に力を入れて取り組んでいる。



政和会 藤原 正三

新総合体育館・新ごみ焼却施設建設とその後



問 新総合体育館の建設後の維持管理や運営に、国の特別交付金で賄われる「地域おこし協力隊」を活用し、維持管理費の軽減に努めてはどうか。

答 「地域おこし協力隊」の新総合体育館への活用については、体育指導員や市民の体力向上など、ソフト面での充実を考え検討していく。また、体育館の施設だけでなく、各部署で積極的に「地域おこし協力隊」を活用するよう進める。

問 穂高広域施設組合のごみ焼却施設の建て替えスケジュールはどうなっているか。

答 今後、8月に技術提案書の提出締め切り、10月には施工業者を落札、平成30年4月には建設工事請負契約、運営業務委託契約を行い、平成32年度末までに施設の稼働という予定である。

問 維持管理、運営等はどうなっているのか。

答 公共サービスの水準を維持し、財政負担の軽減を考慮して設計、施



工し、向こう20年間の維持管理と運営を民間業者に委託する方式（DBO方式）を採用する。

問 焼却灰、焼却残渣の最終処分場所を、県外ではなく、広域施設組合の構成市町村内で処理する検討はしないのか。

答 県単位での建設整備計画を検討するよう要望している。構成市町村の中で、安曇野市以外の区域内で共同処理は困難ではあるが、どこかに適地があり、地元の理解が得られ、他の法的障害など解消の目途が立てば検討していかなければならない。



民心・無所属の会 小林 純子

松枯れに農薬の空中散布は有効か



問 これまでの長きにわたる松枯れ対策から、松枯れ防止・根絶に薬剤の空中散布は効果がないのは明らか。市が3年間実施した空中散布の実績分析からも、効果があったとは言い難い。岩洲公園では空中散布しなくても松枯れは広がらない、という見方もある。来年は止めて様子を見てはどうか。

答 散布区域で枯れた松が2本、非散布区域では17本だった。これがすべて松くい虫被害で枯れたものかは明確ではないという指摘もあるので、さらに詳細な調査を行い、効果の検証をしていきたい。

問 昨年は希少動物が発見され1回目の散布を中止したが、人に対する健康影響をもっと重視しなければいけないのではないか。

答 薬剤による悪影響が科学的に証明できない中、予防原則に従い散布を中止することも一つの考え方が、この3年間の散布実績と調査結果から、今後も安全を確保しながら実施していきたい。

問 本庁舎建設に係る住民訴訟は住民側が敗訴したが、まだ訴訟費用を請求していない。市が勝訴して訴訟費用を請求できる場合は請求する、という方針は撤回されたのか。

答 この訴訟では市の主張が通り、原告住民も控訴しなかった。市は原告の皆さんと共にまちづくりをしていきたいとの思いから、訴訟費用の請求をしないことにした。

問 この訴訟では市の主張が通り、原告住民も控訴しなかった。市は原告の皆さんと共にまちづくりをしていきたいとの思いから、訴訟費用の請求をしないことにした。

【その他の質問事項】
○増田建設産業に設置される太陽光発電施設について



民心・無所属の会 萩原 勝昭

穂高老人保健センター 廃止は福祉の後退では



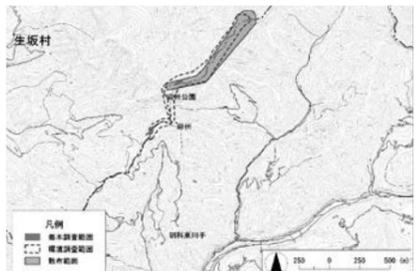
問 穂高老人保健センター廃止後は、どこの入浴施設を利用すればよいか。他の入浴施設は利用料が高く、福祉バスが廃止されるなど福祉の後退ではないか。

答 閉館後は安曇野しゃくなげの湯周辺の温泉施設、入浴料金割引券が利用できる民間の19施設を利用してほしい。福祉バスの廃止については、デマンド交通「あづみん」を利用してほしい。穂高老人保健センターの廃止については地元のみなさんに同意を得ている。

問 「テロ等準備罪」(共謀罪)について

平成29年6月15日午前7時46分参院本会議において「テロ等準備罪」法案が強行採決で成立した。この法律は憲法・刑法で定める犯罪行為があつて刑罰を課す罪刑法定主義に反し、国民の内心の自由を侵す憲法違反の内容である。市長は十分な審議を望み国会の動向を注視していくとしたが、現在はどうのような見解を持っているか。

【その他の質問事項】
○図書館・保育園の民営化問題について



岩洲公園での調査範囲の地図(薬剤散布に伴う環境影響調査報告書より)



穂高老人保健センター入浴棟外観

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録作成には定例会から2カ月ほどかかりますのでご了承ください。)

経済建設委員会 視察報告

平成 29 年 5 月 17 日 視察先 福岡県宗像市 街道の駅「赤馬館」
 目的 宗像市地域おこし協力隊の活動について
 視察先 福岡県豊前市
 目的 道の駅豊前おこしかけの活動について
 平成 29 年 5 月 18 日 視察先 福岡県朝倉市
 目的 世界かんがい施設遺産 山田堰・堀川用水
 水車群について



福岡県朝倉市山田堰

クローズアップ 世界かんがい施設遺産の取り組み

山田堰・堀川用水水車群の特長

「三連水車の里あさくら」の山田堰

土地改良区の取り組み状況の説明をお聞きした。世界かんがい施設遺産に登録され、現在は観光資源で、諸団体の視察が非常に多くなってきているので、行政と寄り添い、連携が必要とのこと。山田堰は学校でも学習の対象となっている。改良区の構成員も高齢化し、農家だけでは管理が難しいので、平成 20 年から住民約 1,000 人が毎年クリーンアップ活動をしているとのこと。

まとめ

安曇野市の拾ヶ堰も世界かんがい施設遺産に登録され、今後は観光客や諸団体の視察も増えると思われる。土地改良区だけは大変で、行政や子供たちを含めた地域住民・学校・各種団体と一緒に協力して活動をし、地域資源を守り続け、後世の子供たちへ遺産を伝えていく必要性を深く感じた。

平成 29 年 7 月九州北部豪雨に際し、おくやみ・お見舞いを申し上げます、早期の復旧・復興を心よりお祈り申し上げます

詳細な視察報告書は QR コードから
議会ホームページへ



政務活動費収支報告

～ 1 人月額 7,500 円 その使い道は～

平成 28 年度政務活動費の実績 (単位:円)

区分	信誠会	政和会	日本共産党安曇野市議団	公明党	民心・無所属の会	濱昭次議員	合計
	人数	8人	6人	3人	3人	4人	
収入							
交付額	720,000	540,000	270,000	270,000	360,000	90,000	2,250,000
調査研究費	166,442	280,452		70,440	81,516	22,800	621,650
研修費	130,000	259,548	196,920	199,560	64,680	15,000	865,708
資料作成費							0
資料購入費					164,418	1,600	166,018
広報費	423,558		73,080		35,716		532,354
広聴費					13,670		13,670
会議費							0
要請・陳情活動費							0
事務費							0
その他							0
小計	720,000	540,000	270,000	270,000	360,000	39,400	2,199,400
返金額	0	0	0	0	0	50,600	50,600

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、会派または議員に対し、一人当たり月額 7,500 円 (年額 9 万円) を上限に政務活動費の交付を受けています。政務活動費は、先進地への視察や研修への参加、広報広聴のための経費等に使用されます。

平成 28 年度政務活動費の収支報告書は安曇野市議会のホームページで公表していますので、ご覧ください。また、議会事務局でも閲覧できます。



総務環境委員会 視察報告

平成 29 年 5 月 16 日 視察先 愛知県尾張旭市
 目的 防災ラジオの活用・AED のコンビニ設置について
 平成 29 年 5 月 17 日 視察先 愛知県豊川市
 目的 豊川市の公共施設マネジメントについて
 視察先 岐阜県恵那市 有限会社東海バイオ
 目的 緑化廃棄物対策及び悪臭対策について



熱く語る東海バイオの社長 (右から 2 人目)

クローズアップ 悪臭対策に挑む民間企業を視察

恵那市 有限会社東海バイオ

・バイオ菌を利用した優良堆肥を市民へ還元することで、地元でも信頼を受けている事業所であった。

尾張旭市

・防災ラジオは平成 24 年度から活用が始まり、公共施設・市議会議員・自治会長へ無償配布され、迅速な災害対策の課題解決に取り組んでいる。
 ・AED はコンビニエンスストアに設置することで、24 時間対応ができるようになった。

豊川市

・今後 50 年間における公共施設適正配置計画を策定し、建て替え予算も総額で計上している。
 ・若者にも興味を持ってもらうために、地元大学と連携して、「マンガでわかる公共施設適正配置」を発刊した。

まとめ

・有限会社東海バイオでは、現地において悪臭も感じることなく、有意義な現地視察ができた。同社の取り組みを、当市においても検討していけないか。
 ・尾張旭市における AED を使える救命ボランティアの取り組みは参考になった。
 ・安曇野市の公共施設の維持管理は、合併したことで課題解決の必要性はあるが、地域にとらわれずエリアとしての考えを持つ必要性が学べた。

詳細な視察報告書は QR コードから
議会ホームページへ



福祉教育委員会 視察報告

平成 29 年 5 月 16 日 視察先 広島県竹原市立中通小学校
 目的 ICT を活用した教育の推進について
 平成 29 年 5 月 17 日 視察先 広島県竹原市立忠海学園
 目的 小中一貫教育の推進について
 視察先 広島県尾道市
 目的 おのみち幸福プロジェクトについて
 視察先 広島県尾道市立市民病院
 目的 地域包括ケアシステムについて
 平成 29 年 5 月 18 日 視察先 広島県尾道市生口島
 目的 生口島における芸術文化の振興について



忠海学園にて

クローズアップ 施設一体型小中一貫教育について学ぶ

竹原市立忠海学園の特徴

平成 12 年 小中一貫校の研究を始める。
 平成 17 年 竹原市立学校教育システム検討委員会を設置し、「通学区の弾力化」、「小中一貫教育」のあり方について諮問。
 平成 24 年 3 月 竹原市小中一貫教育基本方針策定。
 平成 27 年 4 月 施設一体型小中一貫校「忠海学園」開校(小学校7学級・中学校5学級)
 ・9 年間を見据えた授業計画が立てられる
 ・中学校職員(音楽・外国語を中心)が小学生に授業
 ・小中学校職員室が一緒のため連携が取りやすい

まとめ

安曇野市においても少子化の流れの中で、施設一体型が考えられる地域と、施設分離型でない難しい地域がある。竹原市においては、10 年以上の歳月をかけて取り組んできていることから、先進地を参考に当市においても検討をしていく必要があると思う。

詳細な視察報告書は QR コードから
議会ホームページへ



第三期 安曇野市議会の主な

活動を紹介

平成 17 年 10 月に 5 町村が合併し安曇野市が発足して以降、平成 25 年 10 月 23 日（任期は平成 29 年 10 月 22 日まで）からは第三期目の市議会として、新市の発展に向け様々な活動をしてきました。主なできごとの一部を紹介します。（平成 29 年 6 月定例会まで）

市民の意見を聴く会のご意見の一部を紹介 (平成 28 年 8 月 21 日)

テーマ 1 「豊科南部総合公園総合体育館建設について」

- 子供の育成面から
 - ・子供たちの個性を伸ばし、スポーツの多様性に対応できるような充実した体育館は必要
- 財政面から
 - ・少子高齢化による使用者の減少やランニングコスト、財政状況を考えるべき
- 地域の経済面から
 - ・体育館建設による経済効果も期待できるような施設を望む
- 規模・設備面から
 - ・使う人のターゲットを考え、道路等のアクセスや周辺の活性化など総合的な戦略を考えるべき
 - ・なぜ国体基準でなくてはならないか。南社会体育館の建て替えなら大規模でなくてよい

テーマ 2 「議員定数・議員報酬・政務活動費について」

- 議員定数
 - ・議会費の総額を増やさず、議員報酬を引き上げ、それに見合う定数に減らしてはどうか
 - ・定数をあまり減らすと議論が活発にならないので、平均的な数字の 25 人でよい
- 議員報酬
 - ・充分活動ができ、若い議員が増えるような報酬を考えてほしい
- 政務活動費
 - ・調査研究のためには必要な経費、視察できる額にすべき



市役所 4 階大会議室にて

重要課題について政策討論会を開催し、議員間で議論を交わしました

- 平成 28 年 2 月 9 日・3 月 28 日
 - ・南部総合公園における公式スポーツ施設整備について
 - ・穂高広域施設組合の施設更新について
- 平成 28 年 9 月 20 日
 - ・新総合体育館について



市長室にて、議長から市長へ

市政に対する提言書・要望書を市長に提出

主な提言書

- 平成 27 年 4 月 30 日
 - 「安曇野市の土地利用制度見直し」に関する提言
 - ・手続きの簡略化
 - ・田園環境区域開発の 3 辺接続を 2 辺接続に
 - ・開発事業に係る道路幅員基準を 5 m から 4 m に
 - ・安曇野インター東側約 80% の用途地域指定の検討 他
- 平成 27 年 8 月 11 日
 - 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に対する提言
 - ・安曇野市の住みよい環境を将来にわたって維持し、市民一人ひとりが潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成していくためには、独自の施策を確実に行うことが重要ではないか

主な要望書

- 平成 26 年 4 月 28 日
 - 「松くい虫防除対策の推進」について要望
 - ・伐倒燻蒸による駆除、樹幹注入などによる予防対策を早急に集中して実施を
 - ・人手による対策が難しい山深い所は、農業空中散布での対策を（長野県駆除実施基準に従って健康被害には最大限考慮） 他
- 平成 27 年 6 月 1 日
 - 地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」の建設について要望
 - ・市民のコンセンサスを得ること
 - ・安曇野市が通過点にならないように配慮を
- 平成 28 年 6 月 20 日
 - 「議決事案の重要性を考慮すること」を要望
 - ・「旧堀金公民館講堂耐震改良等工事に伴う旧図書館等の解体工事」の事業変更は、議決事案である重要性を考慮すること
- 平成 28 年 12 月 27 日
 - 「安曇野市議会の議員報酬及び政務活動費の見直し」について要望
 - ・監視機能、立法機能を市民の意思決定機関としての議会力の向上を図るためには、議員活動に専念して生活を営める環境を整備する必要があるため、議員報酬を見直すこと
 - ・議員の能力向上、議会改革のさらなる推進のため、政務活動費を見直すこと

3 月定例会の審議状況と結果などを議会報告会で報告しました

年月	場所	参加者
H26.5	豊科ふれあいホール・穂高支所・三郷支所・堀金支所・明科公民館	110 人
H27.5	本庁舎	101 人
H28.5	本庁舎・穂高会館・三郷公民館	68 人
H29.5	本庁舎・堀金公民館・明科公民館	18 人

議会だよりへの市民の皆さんからのお声の一部を紹介します

発行号	お声（意見・要望等）	対応の状況
第 34 号	○表紙の写真の説明文がなく分かりにくい。説明文を入れてほしい。	○次号から裏表紙に入れるようにしました
第 35 号	○議会だよりは読みやすくなり良いが、議論の内容が少なくなったので、質問や討論を載せてほしい	○できる限り載せるように委員会で検討しました
第 41 号	○視察報告の内容が感想文になっている。その視察で安曇野市として何をどうするかまで具体的に書くべき ○ホームページを利用して、詳細な報告書を市民に示すべき	○報告様式を統一して、視察内容とまとめを具体的に載せるようにしました ○QRコードを活用できるようにしました
第 45 号	○一般質問の回答者が誰かを明記すべきではないか	○次期広報特別委員会で検討します

貴重なご意見ありがとうございました。

市民の

The Voice



声



田村 浩さん
(豊科)

東山を眺めつつ思うこと

常念岳

は安曇野のシンボル。「何処で見ると「そりゃ・おらとこせ」と即答されるほど「愛着とこだわり」を持つ人が多い山だと思えます。私もその一人で、中学の集団登山での初登頂から100回を超える常念登山、日々撮り続けている常念岳がモチーフの年賀状は30年以上です。

その

反対に位置する東山の光城山・長峰山には、常念登山のための足慣らしや安曇野を眺め楽しむ趣味と実益を兼ねてよく登ります。汗を流しながら環境整備をされる、光城山をこよなく愛するボランティアの方々や「昇龍の桜」を次世代に継承するために「協働のまちづくり」として取り組んでいる「SAKURAプロジェクト」等、素晴らしい活動がこの地で展開されています。

反面、

安曇野の景観をも蝕んでいく枯れは、拡大の一途で心配です。

市議会でも高い危機意識で対策に取り組んでいることは分かっていますが、市民が共有する問題として効果的な対策を後押ししてほしいと思えます。

10月

に行われる市議会議員選挙は有権者が18歳に引き下げられ約2000名の増加、議員定数が3人減り22人と従来とは大きく変わる選挙です。4年前に制定された「安曇野市議会基本条例」にのっとり議会改革を重ねながら、なお一層市民の信託に応えていく市議会であるよう期待しています。



SAKURA プロジェクト 一家総出で桜の植樹

議会傍聴へようこそ!

平成29年安曇野市議会 **9月定例会は8月22日(火)～9月15日(金)** 頃を予定。皆さんの傍聴をお待ちしています。託児室をご用意してあります。お気軽にお問い合わせください。(要事前予約) 議会ホームページでは本会議のライブ配信も実施中です!ぜひご覧ください。 **請願・陳情の締切は8月14日(月)** です。それ以降の提出は次の定例会での審議になりますのでご注意ください。

編集後記

◆議会だよりが市民の皆様にとって親しみやすい情報誌の一つになっていただければと願い、編集活動を続けてまいりました。読みやすさ・分かりやすさと中身の濃さ・詳しさは時にはぶつかり合うこともありますが、正確な情報をバランスよくお伝えすることをモットーに、市政の判断材料として役に立つ議会だよりであることを願ってまいりました。早いもので、今の広報委員での編集は、残りは次号だけとなりました。振り返ってのご感想でも結構ですので、議会だよりに忌憚のないご意見ご要望がいただけましたら幸いです。

副委員長 林 孝彦

議会広報特別委員会

委員長 竹内秀太郎 委員 坂内不二男 井出勝正 一志信一郎 藤原正三
副委員長 林 孝彦 中村今朝子 平林 明 猪狩久美子 小林純子

今号の表紙写真



穂高西小学校の音楽会が6月30日に開かれました。真剣なまなざしで演奏する姿に大きな拍手が送られ、楽しい音楽会となりました。

気軽にご意見をお聞かせください

〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地
TEL 0263-71-2000 (市役所代表)
TEL 0263-71-2156 (議会事務局)
FAX 0263-71-2150 (議会事務局)
E-mail: gikai@city.azumino.nagano.jp
http://www.city.azumino.nagano.jp/site/gikai/